

報道資料

平成 29 年 11 月 9 日

1 件 名	ーコミュニケーションと距離の関係性って？ー 未来の山口の授業 ^{ベータ} (開発版) 「教室メーカー」
2 日 時	2017 年 11 月 18 日 (土) /13:00~16:00 19 日 (日) /13:00~16:00
3 場 所	山口情報芸術センター [YCAM] スタジオ A
4 内 容	<p>山口情報芸術センター [YCAM] では、「未来の山口の授業^{ベータ} (開発版)」と題して、近年の研究をもとに YCAM で開発中の教育プログラムに触れるトライアルワークショップを週末を中心に実施しています。</p> <p>11月18日(土)・19日(日)と二日間通して体験できるワークショップは、「教室メーカー」。人と人、人とモノの「間隔」をテクノロジーを使って見えるようにしたうえで、黒板や机といったものの配置を変えることでどのような影響がもたらされるか、劇を使って実践しながら教室でのコミュニケーションについて考えるワークショップです。</p> <p>「教室メーカー」開催概要</p> <p>期間:11月18日(土)13:00~16:00 19日(日)13:00~16:00</p> <p>会場: YCAM スタジオA 料金: 無料 (要申込み) 対象: 小学4年生以上 定員: 各回10名 講師: YCAM教育普及チーム 協力: 柴 幸男 (劇作家/演出家) 岩谷 成晃 (プログラマー)</p>  <p>▲「パーソナルスペース再発見」の様子 (2016)</p> <p>▶「教室メーカー」とは？</p> <p>YCAMで2017年1月に行われた、コミュニケーションの可能性をさぐるワークショップ「パーソナルスペース再発見」を改良したもの。今回は、劇作家・柴幸男氏と共同で制作。教室内にいる気持ちになって「先生の身長が5cmだったら?」「教室がとっても暗かったら?」「教室が細長かったら?」など様々なシーンごとに、自分が心地よいと感じる、人やモノとの「間隔」の違いを体感しながら、様々なシチュエーションの中で、みんなが過ごしやすい教室とはどんな形かを考えていきます。</p> <p>▶「未来の山口の授業」とは？</p> <p>メディア・テクノロジーの応用に関するYCAMの豊富な知見を活かして、地域の連携のもと、小中学校で実施可能な教育プログラムの開発をおこなうとともに、次世代に向けた新たな教育モデルとして全国に発信していく活動を、2017年度から「未来の山口の授業」と名付けています。</p> <p>是非この機会にご取材、ご掲載いただけますようお願いいたします。</p>
5 問い合わせ	山口情報芸術センター [YCAM] 学芸普及課 (担当: 青柳・岡崎・橋本) TEL:083-901-2222 /FAX:083-901-2216 メールアドレス: press@ycam.jp